

## 第2章 「福祉・ホースセラピーに活用されている馬」

### 福祉・セラピー

富士山麓の恵まれた自然環境を最大限に活用

特定非営利活動法人 **EPO**

障がい者の自立支援を目的として、馬や農業などによるセラピーを複合的に取り入れた福祉事業を展開



### 活動の概要

事業体名称のEPOには、活動の基本的な理念である Eco、Pony、Organic の意味が込められている。施設利用者の一人一人が居場所や役割を持ち、個性を伸ばすことを目的に活動を行っている。

ここでは、年齢も性別も障害の有無も関係なく、多様性を育みながら、色々な人たちが集まって、遊び、働き、交流を行う。自然とのふれあいや乗馬の楽しみを通じて、心が育まれ、笑顔の日々を重ねながら、活動の環を広がっている。農業を通じて、障がい者の就労の場も提供されている。

EPOの創始者（高橋 智さん；保育士）の活動は、平成13年頃に子どもたちや親とのふれあいのために移動動物園を開始し、ポニー数頭を導入することから始まった。馬については、この分野ですでに実績のある事業体の指導者との交流を通じて、管理方法、馬と人のふれあい方、乗馬に関する基本的な知識を習得した。馬は現在、ポニーを含む7頭を保有している。また羊（肉用種）を約40頭飼育している。

### EPOの理念

- 朗らかに健やかに生きる
- 新しい価値の創造・個性を活かした社会貢献・可能性を育むチャレンジ

平成22年から、国の制度によって認可を受けた障害者就労支援事業（就労継続支援B型など）、

次いで障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）を開始し、1日に20～32名の障がい者が通っている。このような福祉事業においては、一人一人に合った作業内容がよく考えられている。各人ができることを、その人が心地良いと思う場所で、無理なく取り組んでもらおうという利用者に寄り添った支援がなされている。

本施設で実施されている基幹活動は、以下の1～4の通りである。また、地域に溶け込んだ「森のようちえん」「森のアトリエ」活動（5～6）も行っている。

### 1. 障害者就労支援事業 EPO FARM

<自立訓練（定員6名）・就労継続B型（定員20名）・就労移行支援（定員6名）>

#### 【活動内容】

#### 1) 農作業、農作物の加工・販売

野菜やハーブの育種、収穫、加工（選別、乾燥）、近隣地域でのマルシェなどに出品、販売

#### 2) 収穫物を使ったワークショップ「土のうえ、空のした」

施設の農園で収穫された産物を使って、季節を考慮した手造り加工品を生み出している。

<春>羊の毛刈、フェルト、エコグッズ

<夏>ハーブ石鹸、薬膳、薬膳講座

<秋>ジャム作り、酵素ジュース仕込み、オーガニックアロマ

<冬>キャンドル、味噌づくり、ピロシキ大会

- 3) 自然体験イベントの企画・開催
- 4) 馬のボロ（馬糞）を用いた堆肥づくり
- 5) Café こぱっちょ：薬膳カレーなどを販売



手造りの野菜（左）と羊（右）

## 2. 障害児通所支援事業 LEAF

<児童発達支援・放課後等デイサービス（定員 20 名）・保育所等訪問支援事業>

### 【活動内容】

感覚統合理論をベースとした乗馬療法を中心に、発達の遅れが気になる子どもたち（幼児～18 歳）の社会生活をサポートしている。

#### 1) LEAF-児童発達支援

幼児が対象の療育支援。保育園、幼稚園に通いながら週 1～2 回の個別セッションを行う。

#### 2) LEAF-放課後等デイサービス

近隣の小・中学校、支援学校等を中心に 2 時半以降に送迎による通所を行っている。1 グループが 4～5 名単位で、1 日に 5 グループセッション。森林の豊かな自然空間を活用した活動を行っている。

### 【支援スケジュールの例（1 日）】

- (1) 10:00～12:00 対象者：幼児、小中高生  
活動：乗馬、学習、自然体験
- (2) 13:00～17:00 対象者：小学生  
活動：乗馬、感覚統合遊び、SST
- (3) 17:00～19:00 対象者：小～中高生  
活動：個々の目標に応じた学習、乗馬

#### 3) LEAF-保育所等訪問支援

地域の保育園、幼稚園、小学校等の集団生活の

場に出向き支援を行う（今後馬を連れての訪問等を検討中）。

農場のあらゆる生活場面をホースセラピーの中に取り入れている。自然豊かなファームの中で、動物、風、鳥のさえずりを感じながら心地よい刺激に包まれて過ごす。子供たちが持つ感覚や感性の問題に着目し、日常生活のしづらさや困難感、問題行動がなぜ起きるかを乗馬や自然体験を通じて探る。不登校の子供たちも個別に支援する。



自然のコースで乗馬を楽しむ子ども達

## 第2章 「福祉・ホースセラピーに活用されている馬」

### 3. ホースセラピー活動

バリアフリー乗馬会(うま Lavie): 障がい者、健常者、兄弟(兄)、子ども、大人がそれぞれのスタイルでグループごとに乗馬会を行う。

セラピーに使用されている馬は体高 100~135cm の 5 頭で、北海道和種馬も 1 頭含まれている。

### 4. 講習会等

福祉と馬学の知識、技術の習得に非常に積極的である。EPO の利用者およびスタッフに向けて、他施設(ピルエット)で取り組んでいるソーシャルスキルトレーニング(SST)プログラムの講習会を指導者を招いて行っている。馬の管理スキルの向上に向けての勉強会も頻繁に行っている。

これらは施設運営のレベルアップ、より有効なセラピー事業の推進、施設の安全性確保、利用者および家族との信頼性と連帯感の醸成には欠かせない活動となっている。

### 5. 森のようちえん(こだま)

1~6歳までの子どもたちとお母さんの為の子育てプログラムで、毎日森や野原、川や牧場に出かけ自然の中でゆっくり、じっくり子育てを楽しむ。プログラムにはひき馬や馬とのふれあいも含まれる。



のびのび、ゆっくりした自然空間で親子のふれあい

### 6. 森のアトリエ(ニキッズ)

子どもたちが自由にのびのびと絵を描ける、規制のない自由時間と空間を設ける。子どもたちは無意識に自分の心の内側を絵にする。子どもの心を癒す効果と、大人たちが子どもの心を知る手がかりとなる「子どもの絵を観る会」を開催している。

#### 活動体制

<スタッフについて>

障害者自立支援事業を遂行するために、施設管理者、サービス管理責任者、職業指導員、児童発達支援管理責任者など中核になるスタッフとサポート人員が約 40 名働いている。また、近隣地域住民や施設利用者の親や大学生のボランティアなどが追加的な支援を行っている。

スタッフが生き生きと働いている。スタッフは大工、調理など、それぞれが得意分野をもっており、これまでの経験を活かして、各人が誇りをもって自主的に作業に参画している。それぞれが各部署を任されているという自信と誇りが連帯感を高め、EPOの活動を芯から支えているといえる。また、スタッフ間のコミュニケーション、意見交換が活発になされている。他のスタッフから出る良いアイデアは積極的に取り込もうとする前向きな姿勢が多く、多くのスタッフからも感じられる。キャリアに関係なく、様々なアイデアを取り込んで試そうとする創意工夫の姿勢が素晴らしい。

#### 施設の概要

この施設を訪れて最初に目に入るのは、落ち着いた古民家風の大きな家屋(以下、本棟)である。ここが活動の中心となっており、事務所・作業室・Café・相談室などが集まっている。本棟は家庭的な雰囲気満たされており、初めて訪れた人も心

が落ち着くほっとする空間を提供している。

本棟に隣接して、奥に広い馬場と厩舎がある。厩舎の2階は子どもたちの療育室として利用できるよう工夫されており、遊びを通じて様々なスキル・能力を向上させる場になっている。本棟と馬関連施設は就労自立支援のための畑と作業所が取り囲んでおり、また本棟背後の広大な森林の斜面を利用した手造りの遊歩道、子供たちの自然体験エリア、馬のトレッキングコース、羊舎などが点在し、それぞれの空間が有機的に配置されている。



富士山の頂きを望む敷地（上）と本棟内の様子

### 背景(地域連携、展望等)

地域の行政機関、社会福祉協議会、ハローワーク、支援学校、医療機関などと緊密に連携して事業を進めている。地元との信頼関係を大切にするとともに、事業活動の発信力が高く、地域におい

て特色のある事業体として存在感を高めている。

施設の運営は、基本的には福祉サービス事業所としての国からの助成金を基盤としている。農作物による収益も支えになっている。また地域イベント関連の助成金や研究助成金からの支援も受けられるよう努力している。

関東地域で実施される障がい者のための乗馬大会に参加し、選手を送り出すなど、障がい者にとってより高い目標をもった活動も行っており、障がい者や保護者にとって自信と希望をつかむことができる機会を与えている。

「皆の笑顔がつなぐEPO」をコンセプトに、上記のように「森のようちえん」や「森のアトリエ」といった地域に連携し、フィールドを共有した活動を行っている。また、以下のように専門家の協力を得て研究活動も行っている。

#### (研究連携の例)

作業療法の専門家（大学教員）の指導の下で、感覚統合理論を取り入れたプログラムの開発と、より有効な実施方法の検討、ホースセラピー普及の一助になることを目標にして、静岡県内の福祉事業施設および各地の乗馬施設との連携の仕方をテーマにした研究を行っている。

<研究事業>静岡県社会福祉協議会 社会福祉事業振興特別助成「発達障害児のための乗馬による感覚統合療法研究事業」（平成26-27年度）

本施設は、地域の恵まれた自然環境と人材、障がい者の自立支援制度を馬によるセラピー活動に有機的、総合的に結びつけている運営の好事例として挙げられる。

.....

〒418-0011 静岡県富士宮市粟倉 2736-3

(URL) <http://epo-farm.com/about/#>

(E-mail) [indy-works@royal.ocn.ne.jp](mailto:indy-works@royal.ocn.ne.jp)